各拠点病院が取り組んでいるがん対策 (2026年度)　**県立中部病院**

1 .がんの予防

①生活習慣(喫煙) ②生活習慣(飲酒) ③感染症対策(HPV) ④感染症対策(肝炎) ⑤感染症対策(HTLVー 1)
2025年度に重点的に取り組んだがん対策
特になし
2026年度に重点的に取り組んでいるがん対策
2026年度大腸がん激減プロジェクトで何らかの方針が示された場合はそれに従う

2 .がん検診

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について ②がん検診の精度管理等について ③受診率対策について
2025年度に重点的に取り組んだがん対策
③受診率対策について ・市民向け啓発イベントを開催しがん検診の重要性について啓蒙活動を行った ・内視鏡の二次検診枠を増やした
2026年度に重点的に取り取り組んでいるがん対策
③受診率対策について ・検診施設からの患者紹介を増やすためのシステム構築 ・市民向けの啓発イベント開催し啓蒙活動に力を入れる

3 .がん医療提供体制

①医療提供全般 ②病理診断 ③がんゲノム医療 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥薬物療法 ⑦チーム医療の推進 ⑧医療実装
2025年度に重点的に取り組んだがん対策
①医療提供全般 ・県内で行えない高度な医療(治験・BNCT・重粒子線治療など)について、適宜県外施設へ紹介を行っている ・ACP促進チームを結成し、マニュアルの見直しを行った ③がんゲノム医療 ・がん遺伝子パネル検査について他施設と連携し検査の受け入れを持続的に行った ④手術療法 ・ロボット支援下手術を3診療科（婦人科、泌尿器科、外科）にて実施している。年々、件数増加がみられている ⑤放射線療法 ・放射線治療機器の更新が終了し、小線源治療も含めた放射線治療を再開した
2026年度に重点的に取り組んでいるがん対策
①医療提供全般 ・院外の施設、地域住民に向けたがん診療拠点病院としての医療提供体制をアピールし、がん患者の紹介増加を図る ・ACPマニュアルの見直しを引き続き行い、定着に向けて取り組む ・県内で行えない高度な医療(治験・BNCT・重粒子線治療など)について、県外施設への紹介を継続する ③がんゲノム医療 ・離島を含む他施設との連携を継続し、院内外の診療科へ周知を行い、出検の増加を図る。 ・ヘムサイト(造血器腫瘍遺伝子パネル検査)の実装に向けてワーキンググループを立ち上げ、検討を始めた。 ④手術療法 ・ロボット手術の件数増加に向けた取り組みを引き続き推進 ⑤放射線療法 ・小線源治療を含めた安定した治療体制を継続 ⑦チーム医療の推進 ・関係診療科とのカンファレンス、キャンサーボードを継続しチーム医療を推進する ・がん関連多職種チームによる患者サポートチームの体制を構築する

4.緩和・支持療法

①緩和ケア ②在宅療法 ③リハビリテーション ④支持療法 ⑤妊孕性温存療法

2025年度に重点的に取り組んだがん対策

①緩和ケア
・緩和ケア研修会を計画通りに実施
・痛みのスクリーニングの対象を広げ、緩和ケアチームと共に疼痛コントロールの強化を図った
・院内の緩和ケア週間にて、患者向けに講演会を行った
・緩和ケア外来を立ち上げ、緩和ケア病棟に入院するまでの間の緩和ケアの継続、入院調整
・積極的ながん治療を行った患者に対しホスピスへの案内や紹介を行った
②在宅療法
・地域の訪問介護ステーションとともに地域で看取った患者の症例検討会を実施し、地域で看取りができる体制の整備や支援に取り組んだ
④支持療法
・神経ブロック治療を南部徳洲会病院と連携し行うことで強化を図った

2026年度に重点的に取り組んでいるがん対策

①緩和ケア
・ホスピスとの連携を強化し、積極的ながん治療を行った患者の案内、紹介を継続する
・irAE対策チームを中心に対応マニュアルの院内周知、教育に取り組む
・緩和ケア研修会(八重山病院共催：10月3日、宮古病院共催：2月6日)
・ゆんたく会のオンラインでのハイブリッド開催予定。
・緩和ケア週間(10月2日～9日)を院内イベントで開催。緩和ケア医や産業支援センター、ハローワーク、ぴあサポーターのミニ講話などを予定。
②在宅療養
・地域ケア科と連携し、地域で看取りができる体制の整備や支援に取り組む
④支持療法
・神経ブロック治療については、南部徳洲会病院との連携を継続
・痛みのスクリーニングの定着に向けて取り組む(痛みのスクリーニングの結果のその後の対応については課題)
・リンパ浮腫、ストマトラブル等の相談対応強化に取り組む
⑤妊孕性温存療法
・他施設との連携を強化し、適切なタイミングで紹介を行う

5.個別のがん対策

①希少がん ②難治性がん ③小児がん ④AYA世代のがん ⑤高齢者のがん ⑥離島・へき地

2025年度に重点的に取り組んだがん対策

①希少がん ②難治性がん
・希少がん、難治性がんの紹介患者を受け入れを行った
⑤高齢者のがん
・意思決定能力を含む高齢者機能評価に関する院内マニュアル整備に向けて準備を開始した
⑥離島・へき地
・石垣、宮古地区のグループ指定のがん診療病院との連携を図り、専門医の派遣を継続した。離島地域でも腫瘍内科の外来を活用しがん遺伝子パネル検査を依頼を受ける体制を継続した

2026年度に重点的に取り組んでいるがん対策

①希少がん ②難治性がん
・希少がん、難治性がんの紹介患者を積極的に受け入れる
⑤高齢者のがん
・意思決定能力を含む高齢者機能評価に関する院内マニュアルを完成させ、高齢者がんに対応していく
⑥離島・へき地
・離島診療に対する研修医への教育、研修を行う
・石垣・宮古地区のグループ指定のがん診療病院との連携を継続し、新たに北部地区医師会病院へ放射線治療医の派遣を行う

6.共生

①相談支援 ②情報提供 ③デジタル化 ④就労支援(医療機関側) ⑤就労支援(職場側) ⑥アピアランスケア
⑦自殺対策 ⑧がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭

2025年度に重点的に取り組んだがん対策

①相談支援
・がんと診断された患者が必ず1度はがん相談支援センターを訪問する体制を整えた
②情報提供
・患者サロンを月１回定期開催し、相談、情報共有の場を確保した
・院内の各職種や県地域統括支援センターなど外部の協力を得てアロマや物作りなどのプログラムを実施した
⑥アピアランスケア
・がん相談支援センターおよび外来看護師(化学療法室含む)による利用案内リーフレットの配布、院内ポスター掲示、デジタルサイネージ等で周知を図った
④就労支援(医療機関側)
・ハローワークと連携し就労支援を行った
⑦自殺対策
・がん患者自殺対策講演会を行った

2026年度に重点的に取り組んでいるがん対策

②情報提供
・図書室をリニューアルし充実を図る(7月14日オープン予定)→8月19日がん情報ライブラリーオープン記念イベント開催
・患者サロン参加者の増加を図るために、LINE等を利用した広報活動の強化
④就労支援(医療機関側)
・ハローワークと連携して患者支援を継続
⑥アピアランスケア
・アピアランスケアを活用するための情報提供体制を構築する
・図書コーナーのリニューアルに合わせ、アピアランスケアコーナーを設け患者支援の充実を図る
⑦自殺対策
・院内外へ向けてがん患者の自殺対策講演会を行う

7.基盤

①研究の推進 ②人材育成の強化 ③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 ④がん登録の利活用の推進
⑤患者・市民参画の推進

2025年度に重点的に取り組んだがん対策

①研究の推進
・JCOGに参加し、臨床試験への患者登録を行った
③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
・中部医療圏の医療従事者向けの講演会を行った
⑤患者・市民参画の推進
・市民向けの啓発イベントを行った

2026年度に重点的に取り組んでいるがん対策

①研究の推進
・JCOGの参加を継続し、JGOG臨床試験へも参加予定
②人材育成の強化 ③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
・離島へき地へ赴任する医療従事者向けにがん診療に関する教育・研修を強化する
③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
・中部医療圏の医療従事者向けの講演会を行う(7月27日講演会web併用)→約70名参加(現地30人、web40人)
・中部医療圏の医療従事者向けの講演会10月27日「ACPを院内の文化にする」開催予定(web併用)
④がん登録の利活用の推進
・がん登録のデータを利用して診療内容の改善を図る
⑤患者・市民参画の推進
・市民向けに啓発講座の定期開催